

図書館サービスの充実についてお伺いたします。

昨年度、練馬図書館50周年の節目を迎え、区立図書館も12館が整備されました。この間、情報技術の目覚ましい進展や急速な少子高齢化などにより図書館を取り巻く環境が大きく変化してきております。このようななか、概ね今後10年間の図書館サービスについてを示すため、今年6月に練馬区立図書館ビジョンを策定しました。

この図書館ビジョンでは、「これからの図書館サービスの方向性」について4つの方向性が示されており、その一つに、情報発信拠点の機能の充実があります。

ユビキタス社会が到来している昨今、図書館利用者が図書や資料を検索・予約するサービスに目が行きがちです。しかし、昨年夏に行なわれた区民意識意向調査によると、過去一年間に区立図書館を「利用したことがない」「ほとんど利用したことがない」方が半数以上を占めているという現状があります。

そこで提案ですが、新たな図書館利用者を増やすため、新刊情報やおすすめ図書などを「ねりま情報メールサービス」を活用して情報発信してはいかがでしょうか。普段図書館を利用しない方々もメールの新刊情報等を目にするこ

とにより、図書館に足が向くことが考えられます。また、人気の新刊本については借りやすくするため、貸し出し期間を見直してはいかがでしょうか、お伺いします。他自治体では図書館離れを防ぐため、喫茶コーナーで飲み物を飲みながら読書が出来るスペースを設けたり、タッチ画面で検索すると欲しい本が目の前まで機械で運ばれるなどの新しい図書館サービスが行われています。練馬区として新たなサービスの導入についてはどのように考えているのでしょうか、あわせてご所見をお聞かせください。

次に、図書館ビジョンの方向性の二つ目には、学校および子育て家庭などへの支援とあります。先の区民意識意向調査では、子育て中の家庭などへの支援として図書館に求める役割は何かと聞いたところ「絵本のよみきかせ、おはなし会など、子供向けの事業の充実」が4割を超え、最も多くなっております。こどもと本のひろばをはじめ、各図書館では各種よみきかせやおはなし会などを実施されていることを評価いたします。しかし、お子さまがまだ小さく複数名いらっしゃる保護者の方からは図書館まで行きたくても行けない、子どもが騒ぐので静かな図書館は気が引けるなどのお声をいただいております。そこで提案ですが、

ぴよぴよやにこにこで、出張のよみきかせやおはなし会を行なってはいかがでしょうか。また、その出張のよみきかせやおはなし会に合わせて、絵本など子ども向けの本の貸出・回収を行なってはいかがでしょうか。ご所見をお伺いします。

また、図書館ビジョンの方向性の三つ目には、区民や地域との協働とあります。台東区では、区内の企業や店舗、個人の皆さんに社会貢献活動の一環として、区民の財産である図書館の雑誌を提供していただき図書館運営に参加していただき、雑誌スポンサー制度をはじめております。スポンサーになった方には、雑誌購入代金を、図書館が指定する納入業者に直接お支払いいただき、提供いただいた雑誌の最新号にカバーをかけ、表面にスポンサー名、裏面に広告を掲出します。この制度を通じて、社会貢献活動を行なう区内の活力を一段と喚起するとともに、図書館への関心を一層高めていただき、地域に根差した図書館運営を行なうそうです。練馬区でも、この雑誌スポンサー制度を活用した区民や地域との協働を行なうべきと考えますが、区のご所見をお伺いいたします。

教育長答弁

私から図書館サービスの充実についてお答えいたします。教育委員会では、今年6月に「情報拠点としての区民に役立ち、頼りにされ愛される図書館」を基本理念とした練馬区図書館ビジョンを策定しました。

その中でこれからの図書館サービスの方向性として、情報発信拠点の機能の充実、学校および子育て家庭などへの支援、図書館の資料や人材の活用、区民や地域との協働の4つの柱を示し、取り組んでいるところであります。

情報発信については、現在、図書館だよりや図書館ホームページ等を利用して、図書館資料の紹介や各館の事業案内を行っています。「ねりま情報メールサービス」の活用につきましては、詳細な情報の発信が難しいことから、図書館システムを利用したメールマガジンの発信を検討してまいります。

また、現在、貸出期間は3週間ですが、多くの区民にご利用いただけるよう、新刊本を含めた貸出期間の見直しを検討してまいります。

次に、新たな図書館サービスについてであります。喫茶コーナーや自動出納書庫の設置は、現状のスペース等の関

係から、難しい面があると考えておりますが、誰もが利用しやすく魅力ある図書館とするため、区民や関係団体などからの幅広い意見を聞きながら、今後も図書館サービスの充実に努めてまいります。

「ぴよぴよ」や「にこにこ」に対する出張の読み聞かせやお話し会については、各施設のニーズなどを調査しながら、図書館のボランティア等と調整の上、その実施に向けて検討してまいります。また、「ぴよぴよ」などの子育て支援施設などに対して、図書の貸出・回収ができる旨の周知を改めて行ってまいります。

雑誌スポンサー制度については、区内の事業者の社会貢献活動の活性化や、地域に根差した図書館運営を行う上で、有効な手法であると考えております。他自治体の運営状況を調査し、導入について検討してまいります。

いずれにいたしても、図書館がこれからも地域の情報拠点として、区民の活動・交流の場として、必要な情報が届けられるよう積極的に取り組んでまいります。